

lip-service

水原希子のfavorite連載

-vol. 26 argentine tango- アルゼンチンタンゴをレッスン!

1月からのNHK大河ドラマ『八重の桜』への出演も決まり、心身ともに益々美しさを鍛え上げていこうと思う今日の頃。セクシーでカッコいいタンゴレディへの道は長いのであった!

model kiko mizuhara(asia cross) photographer masami sano(tron) stylist nimu(makiura office)
hair&makeup anna(shima) thanks to robot restaurant text yukasone

何故、アルゼンチンタンゴなの? ってよく聞かれるけれど、やっぱりセクシーさって重要な表現方法のひとつ。モデルにしても、お芝居にしても、何よりも女性として、内面から出てくる美しさってとても大切。表面的な“可愛さ”だけでなく、芯の強さや優しさ、懐の大きさ、とか? そういう部分をこれからたくさん引き出しとして持っていきたいから、たくさん魅力を持つことで、内面からキレイになれたらいいなー。という訳で、ずっとやってみたかったアルゼンチンタンゴの教室“Tango Rex”に来てみました。先生は、本場アルゼンチン、ブエノスアイレス出身のリカルド・セルケイロさん。タンゴに革命を起こした巨匠、ドミンゴ・ホセ・ブグリエーゼさんの門下生なんだとか。ドミンゴさんは、1940年代中頃に、従来の古風なタンゴのリズムやアクセントから、現代的なダンスステップの礎を築いた現代タンゴの革命児達(パトロレオとカチョ・ランパディーナ)の唯一の弟子だったそう。最近南青山に新しくスタジオを構えた、孫弟子であるリカルド先生にもその革命児の血は強く受け継がれているってわけ。

アルゼンチンタンゴは、世界で一番セクシーなダンスなのだ。情熱的で、女性が最も美しく見える動きを全て取り入れているから、日常生活でなかなか気づかない脚の動かし方や身体の角度などが随所に盛り込まれているのです。基本であり、最も大切なのが姿勢とウォーキング。通常、レッスンを受けると、半年間ウォーキングの練習だけ、というほど厳しいと言われるアルゼンチンタンゴ。それだけでもウォーキングの重要性が伺えるよね。実際にトライしてみると本当に難しい! 骨盤からピンと伸びるように背筋を張って立ち、足を床に滑らせるようにしなやかに運んでいくのがコツ。腰を左右に動かさず、膝を伸ばして足を運ぶのは、まるで上半身と下半身が分断されたかのような。今まで使ったことのない腹筋も鍛えられ、美しさへの奥深さを痛感! それでも先生にはポーズまで教えてもらうことができ、記念すべきスタートを切れたんじゃないかと思えます。ちょっと大変すぎてアルゼンチンタンゴを習う自信はちょっと無くなりちゃったかも? だけど、本当の美しさを目指してまだまだ頑張るぞ!



骨盤の角度が大切なんだって。慣れたキャットウォークと勝手に違って難しい!



“滑らせるように足を運ぶ”を先生と共に実践。前を向いたまま足を動かすなんて至難の業〜(汗)



先生のリードでステップ。こちら“滑らせる”のがコツ。頭が混乱で思わず大笑!



ポイントは足! 決まってる?

Tango Rex
add. 東京都港区南青山1-11-45 B1
tel. 03-3497-0908
www.tangorex.com/Tango Rex

トップス¥8,400 (FAIRGROUND / ジャック・オブ・オール・トレード プレズルーム)、
スカート¥39,900 (maria bonita extra / クライ)、シューズ スタイリスト私物